

横浜市立旭北中学校 令和3年度 学力向上アクションプラン

1 中期学校経営方針

(1) 学校教育目標と教育課程全体で育成を目指す資質・能力

学校教育目標	教育課程全体で育成を目指す資質・能力
(1) 身につけた知識や技能を生かし、夢の実現に向けて主体的に努力し続ける生徒を育てます。【知】 (2) 自ら身体を鍛え、豊かな人間関係を築き、より良い生き方を求めて行動する生徒を育てます。【体・徳】 (3) 生命や自然、文化を尊重し、社会の平和と発展に貢献する生徒を育てます。【公・開】	自らの力で課題解決できる《自立》 お互いの違いを認めあえる《受容》 地域の一員としての視野を持つことができる《公民》

(2) 中期取組目標

中期取組目標
○充実した学校生活を実現します。 ・充実した教科指導を展開し、一生懸命学習に取り組む生徒の姿が見られるように取り組みます。(意欲) ・生徒会や学級、行事などの特別活動や部活動に一生懸命取り組む生徒の姿が見られるように取り組みます。(自尊感情と自己有用感)
○安心できる学校を実現します。 ・人権感覚を醸成し、良好な人間関係を構築していきます。(コミュニケーション能力) ・整然とした教育環境を維持、改善していきます。(ユニバーサルデザイン) ・家庭や地域社会との更なる連携と充実を図っていきます。(地域社会の担い手)

(3) 学力向上に向けた重点取組分野・具体的取組

重点取組分野	具体的取組
確かな学力 担当 学習指導部 教育課程研究部	①主体的・対話的で深い学びに向かう態度を生徒の実態に合った形を考え、育てるための指導や授業改善を教科及び小中ブロックで継続して取り組む。②基礎的な学力を向上させるため、授業や少人数・TT 指導、朝学習、放課後の学習会等を定着させ、活性化させる。③指導と評価の一体化を実践する。

2 横浜市学力学習状況調査等からの実態把握

(1) 学力の概要と要因の分析

学習意識は高くなってきており、特に保健体育、国語、美術で市の平均より高かった。学習意識と学力は強い相関がないといわれるが、体力・運動能力と現3年生の国語の学力においては、市の平均を上回った。現3年生は数、社、英でも、前年度に比べ学力層A、Bが増え、市平均に近づいた。

全体的に、「授業の中で自分の考えを発表している」意識が顕著に高い。また、校外生活では運動をする時間が長い、学習時間が十分とは言えない生徒(0~30分)や全く読書をしない生徒の割合が大きい。それに代わり、スマホを長時間利用する生徒の割合が大きい。

(2) 各教科の状況

国語: CD層で 54%~62%を占めており、3年国語の活用以外は横浜市平均を下回っている。3年は、学習意欲が3年連続で低下しているが、平均正答率は前年度より3%上がり、全観点で市の平均を上回る正解率のものがあつた。D層は1年時より 10%減となった。教員の授業力を上げ、授業の中で生徒に成功体験を積みませ、全員を巻き込む知的な授業をするように努めていきたい。

社会: 全体として学年が上がるにつれて社会科への関心や学習意識が高まっていく傾向があり、それに伴い学力が向上してきていると言える。思考・判断の観点から特に課題と考えられ、「覚えること」が社会という概念ではなく、因果関係などを「考えること」が社会と意識することが重要と考えられる。

数学: 学年によっては平均に近い学年もあるが、CD層ほどの学年も多く、学習意識についても横浜市の平均値を下回っていた。学年によっては70%前後のCD層が見られる。「数学科の勉強は大切だと思いますか。」ということに関しては「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」があわせて80%を越えていた。

理科: 全体的には横浜市の平均値を下回っているが、どの学年も学習意識の観点数の数値が一番高くなっていて、「よくわかる」「どちらかというわかる」の割合は 85~90%を占めている。どの観点でも、問題によっては市の平均を大きく上回る数値を示すものもあり、内容による得意分野と苦手分野に偏っている傾向が見られる。苦手分野に対してもあきらめずに取り組めるように工夫をした授業を心掛けたい。

英語: 学力D層が34%おり、3人に1人はD層である。また意識調査も全体的に平均値が低い項目が多く、とりわけ将来役立つか、実際にコミュニケーションを図ってみたいかなど、運用に関する項目の低下が著しい。英語がわかる、好きという生徒は他の項目に比べて高いので、英語を使うことを意識させ、英語を使う楽しさや、英語で自らのことが表現できた等高揚感を感じられる授業を展開していく工夫を凝らすことが本校の英語科の課題と考えられる。

3 令和3年度 学年・教科等として育成を目指す具体的な資質・能力と具体的取組

	育成を目指す 具体化した資質・能力	具体的取組	
		3月～8月	9月～2月
国語	語彙を増やし、言葉を豊かに使える資質能力	○質問をしやすい場面設定や生徒に理解しやすい言葉で説明する。○授業では、学習のねらいがわかるように工夫する。○表現する場への意識を持ちながら考えを伝え、学びを深められるようにする。	○質問をしやすい場面設定や生徒に理解しやすい言葉で説明する。○授業では、学習のねらいがわかるように工夫し、振り返りで確認する。○表現する場への意識を持ちながら考えを伝え、学びを深められるようにする。
社会	多面的多角的な視点で社会的現象を考える能力	○授業で時事に触れ、社会の一般事象への意識づけをする。○机間指導を含め、授業での対話を増やし、疑問等から内容に繋げる展開をはかる。生徒が主体的に活動できる課題を取り入れる。	○授業で時事に触れ、社会の一般事象への意識づけをする。○授業での対話を増やし、生徒が質問や疑問を出しやすい授業の工夫を行う展開をはかる。生徒が主体的に活動できる課題を取り入れる。
数学	○基礎的な概念や原理・法則などを理解する能力 ○事象を数学的に解釈したり表現したりする能力	○朝学習の効果的な内容と方法を検証し実践する。○学ぶことの必要性を感じさせる教材・導入を工夫する。○机間指導など授業での対話を増やし、質問しやすい環境をつくる。○習熟度別(自己選択)では、標準コースでの教えあいや学びあいが成り立たない場合がある。指導の工夫に取り組みたい。	○朝学習の効果的な内容と方法を検証し実践する。○学ぶことの必要性を感じさせる教材・導入を工夫する。○机間指導など授業での対話を増やし、質問しやすい環境をつくる。○放課後の学習会などを活用し、標準コースの支援に取り組む。
理科	○科学的に探究する能力○自分の考えをレポート等にまとめたり、発表したりする能力	○難しい内容の学習支援になるプリント作りを工夫する。○机間指導や生徒間の教え合い、教員の話し方の工夫により授業内容の理解をはかる。○授業内容に話し合いの場を増やし、生徒の発言を大切に、学習意欲の向上をはかる。○授業のねらいを明確にする。	○机間指導や生徒間の教え合い、教員の話し方の工夫により授業内容の理解をはかる。○生徒の発言を大切に、学習意欲の向上をはかる。○授業のねらいを明確にする。○振り返りシートを活用し、生徒の理解度や興味を把握する。
音楽	自分の気持ちを表現する力	○学習の主題や本時の学習内容を目に見える形で提示し、用具の準備活動や学習内容理解の支援とする。○さまざまなジャンルの音楽を取りあげて興味・関心をもてるようにする。○説明の仕方を、プリントや板書などを利用して行うとともに、声かけや具体的なアドバイスができるようにする。	○合唱においてパートの音程を正確にとらえさせ、自信をもって歌えることにつなげる。集団でハーモニーを作る喜びを味わわせる。○鑑賞などにおいて曲の感想を周囲と共有することによって色々な感じ方があることを知る。
美術	アイデアやイメージを工夫しながら、作品に生かす力	○教材についての理解をより深めることで作品の発想につながるように、プリントを活用するなど指導の工夫をする。○個別のアドバイスをより具体的に、イメージを具現化できるように支援するとともに、達成感を味わうことで学習意欲がより高まるようにする。	○作品例などを掲示することで見直しをもって制作できるようにするとともに、さらなる工夫を考える時間が十分にとれるように配慮する。○机間指導で生徒の工夫や努力を認める声かけを「どのようなところがいいのかわか」という具体性をもたせることで、生徒自身ができるようになったことを実感しやすくとともに、学習意欲をさらに高める。
技・家	生活の自立に必要な基礎的な技能を身につける力	○これからの社会について予想して、どのような取組が必要であるかを考える。 ○身の回りにある道具の特徴と使い方を知り、効率的な活用方法を考える。 ○実習を通して、よりよい生活のために望ましい選択ができるように問題解決能力を育む。	○社会の状況を判断し、適切な取組を考える。 ○身の回りにある道具の特徴と使い方を知り、これからのものづくりに必要な道具について考える。
外国語	円滑なコミュニケーション能力	○単元ごと的小テストを継続し、リスニングテストや会話テスト、読みテストなども行い、各自の学習を促す。○生徒への声掛けを増やし、質問しやすい環境作りを引き続き行う。○コミュニケーションを意識させながら、各活動を行う。○学習会や、個人的な声掛けなど、個々への対応を充実させる。	○引き続き、小テストやパフォーマンステストを繰り返し、各自の学習を促す。 ○机間指導を増やし、生徒の声掛けを増やすなど、質問しやすい環境作りを引き続き行う。 ○学習会や、個人的な声掛けを引き続き行い、個々への対応を充実させる。
特活	○人間関係形成 ○自己実現 ○社会参画	○行事が縮小実施されるなか、学級組織の充実や学年行事を通して、自他の人権を尊重する集団をつくり、安心して自分を表現できるような環境を作った。 ○体育祭、合唱コンクール等の行事を通して、制限の中で規律を守り、よりよい成果をあげるために工夫して取り組み、自主的、実践的に問題を解決していく能力を育んだ。 ○職業に関する調べ学習や進路実現などの進路学習、生徒会活動を通して、多様な人々の生き方を知り、自らの見識を深め、夢の実現や社会の発展に貢献しようとする態度を育てる。	○学級目標や学年目標、各行事のスローガン達成を目指して努力できる集団をつくるために、委員会活動や学級活動を充実させる。 ○行事や学校生活の中でよりよい人間関係を構築し、お互いを認め合う心や態度を養う。 ○職業学習や進路学習を通して、自らの生き方を考え、将来に生かす態度を養う。
総合	よりよい社会を創る態度	○各活動の目標達成のための具体的な行動目標を話し合わせ、共有させる共に自分の課題にも気づかせる。事後には、その行動目標が個人的にどれだけ達成できたかを評価させ、次の学習につなげるようにする。	

個別級	<p>○時と場に応じた人間関係の育成とコミュニケーション能力</p> <p>○社会生活をするための基礎学力</p>	<p>○行事のあとに振り返りの作文を書くことで、自分の気持ちや状況を説明できるようする。</p> <p>○個別指導計画の内容を見直し、指導方法の改善を行い、個に応じた指導を展開していく。</p>	<p>○話し合い活動や授業形態を改善しコミュニケーション能力の向上に努める。</p> <p>○個々の自立課題を明確にし、授業だけでなく日常生活の中でも問題解決ができるようにしていく。</p>
保体	<p>意欲的に活動し、仲間と協力して運動に親しむ姿勢</p>	<p>○わかりやすい言葉や丁寧な説明をすることで学習のねらいがまっすぐに伝わり、質問しやすい雰囲気をつくる。</p>	